



美瑛町立美瑛中学校
学校だより
令和8年1月号

3学期の始まりにあたって

佐藤 雅輝

令和8年が始まりました。早いもので、つい最近始まったはずの「令和」が早くも8年目に入りました。

今年は「丙午（ひのえうま）」と呼ばれる年です。「丙（ひのえ）」は十干の3番目で「火」を意味し、「勢いがある」「情熱的」「エネルギッシュ」な様子を表します。また、十二支の「午（うま）＝馬」は、古来より農耕など人々の生活に欠かせない動物で、「活力」「前進」「躍動」の象徴とされています。このことから「丙午（ひのえうま）」の年は、「情熱的に躍動し活力にあふれ、いろいろなことがうまくいく縁起の良い年になる」と言われています。近頃、社会の様子を見ると、デジタル機器の積極的な活用、特に最近ではAIの活用が広まるなど、新しいものの見方や考え方が変化してきていることをひしひしと感じます。そのような中、学校は「不易と流行」を慎重に見極め、子どもたちのために何が必要かを考えながら、力強く前進していきたいと思っています。

3学期がスタートすると、3年生は高校受験に向けた取組がいよいよ最終段階に入ります。心なしか、3年生からは緊張感が伝わってくるような3学期始業式でありました。きっと、3年生一人ひとりが充実した冬休みを過ごし、卒業までの残り少ない中学校生活が良い思い出になるよう大切に過ごしていきたいという思いでいてくれるものと感じています。すべての3年生が、自分の目標とする高校へ進学し、自分の持っている可能性をますます広げ発展させて、未来に向かって躍動し前進していくことを期待しています。私たち教職員も生徒たちの1年間のまとめを進めるとともに、充実した年度末を迎えられるよう頑張ります。

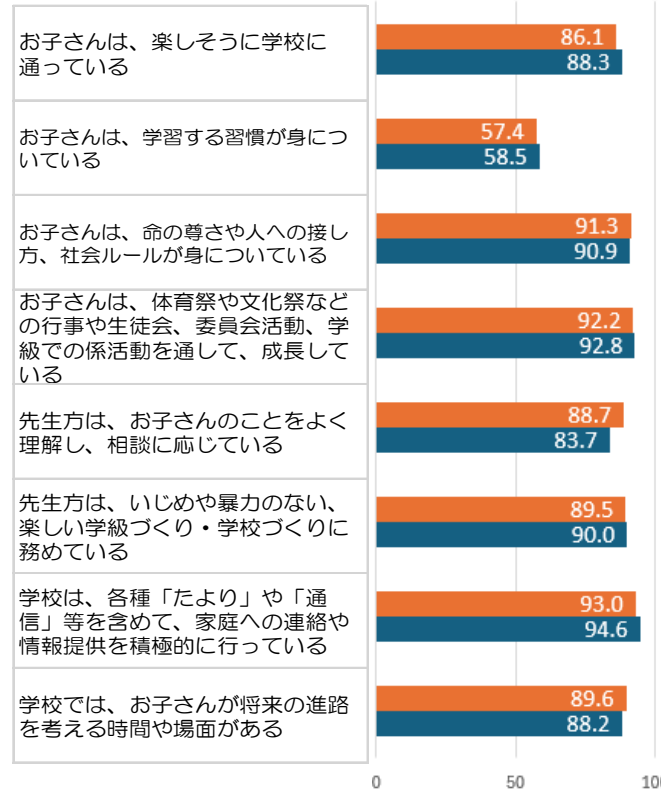
昨今、子どもたちを取り巻く環境の変化が大きく速く、学校が抱える課題も複雑化・困難化するようになってきました。そんな時代の中にあって学校だけでは課題を解決することが難しくなってきました。その困難さを克服するためには、地域・家庭・学校が協力して生徒一人ひとりに寄り添いながら育てていくことが大切です。今後もPTAや学校運営協議会等を活用させていただきながら、学校教育を推進していきたいと考えています。令和8年もこれまで同様、地域・保護者の皆様方の学校へのご支援・ご協力をお願いいたしまして、新年スタートの挨拶といたします。どうぞよろしくをお願いいたします。

保護者の皆様へ

令和8年がスタートしました。1年間の締めくくりとしての3学期をこれまで以上に生徒を主役として、教職員一丸となってサポートします。同時に、4月からの令和8年度に向けて、保護者の皆様のご理解を得ながら、教育活動の充実に尽力したいと思っています。今後ご理解とご協力をお願いいたします。

令和7年度学校評価保護者アンケートより

■ 期末評価 ■ 中間評価



保護者の皆様にご協力いただいた本年度の学校評価保護者アンケートの集計、分析がまとまりましたので、報告いたします。

いくつかの項目で、中間評価よりポイント数が下降していますので、今後改善に向けた具体的な手立てを検討していきます。「学習習慣」につきましては、ポイントが低めですが、さらに意識の向上や授業とのつながりを重視し、改善に努めていきます。

一方、「生徒理解」「進路」については、中間よりポイント数の上昇が見られました。引き続き、生徒の思いに寄り添い、一緒に考えていく姿勢を大切に、教育活動を進めていきます。

今年度も、多くの保護者の皆様からご回答をいただきました。引き続き、本校に対するご理解とご協力をお願いいたします。

全国体力・運動能力調査の結果について

2学年を対象として、4月～6月に実施した標記調査の結果が届きました。9種目のうち、男子は2種目（握力、50m走）で、女子も2種目（握力、上体起こし）で全国の平均を上回りました。

また、男女とも「運動が好き」「中学校卒業後も自主的に運動したい」という回答した割合が非常に高く、主体的に運動しようとする下地ができていることがわかりました。各個人の結果シートを、保健体育の時間に配布しますので、お子様の結果を確認していただければと思います。